
アマゾン、多治見市の物流拠点で「ジョブシャドウ」実施

Edited By LogisticsToday On 2014/08/19



アマゾンは19日、若者の社会的適応力を育成する経済教育団体「ジュニア・アチーブメント日本」の協力を得て、岐阜県立多治見北高校の1年生生徒15人を対象にした一日職業体験プログラム「ジョブシャドウ」を、アマゾン多治見フルフィルメントセンター（多治見FC）で実施した、と発表した。

実際に生徒1人がアマゾンの社員1人に数時間同行し、職場の仕組みの違いやスタッフの役割、アマゾンが展開しているグローバルビジネスを体験した。岐阜県で「ジョブシャドウ」プログラムを展開するのはアマゾンが初めて。

多治見FCでは農業生産法人FRUSIC（フルージック、岐阜県高山市）の協力で、6月-11月にかけて同社が飼育するヤギが敷地内の草の一部を食べる「エコ除草」を実施するなど、ユニクな取り組みを展開している。

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/120451>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.